

歯科臨床医のための 疼痛管理と全身管理の基本

著 高杉嘉弘

A4変型判 カラー 165頁 定価 7,140円(本体6,800円+税)
ISBN978-4-7624-0620-1

ひとつひとつの手技をオリジナルステップ写真で解説した、
歯科臨床医、臨床研修医に必ず役立つ一冊。バイタルサインの診
かた、局所麻酔、全身麻酔から救急蘇生までを見やすくまとめあ
げた日常歯科診療に役立つ疼痛管理マニュアル。



◆ 写真編

バイタルサインの診かた

- ▽脈拍の触れかた
- ▽水銀血圧計の準備
- ▽水銀血圧計による血圧測定
- ▽自動血圧計の準備
- ▽自動血圧計によるモニタリング
- ▽自動血圧計の表示と記録
- ▽標準12誘導心電図
- ▽モニター誘導心電図
- ▽胸部の聴診
- 静脈路の確保
- ▽薬剤の準備
- ▽点滴の準備

▽静脈注射

- ▽静脈内留置針による静脈穿刺
- ▽注射針と翼状針による静脈確保
- ▽筋肉注射
- 局所麻酔
- ▽表面麻酔
- ▽カートリッジ用シリンジの使用法
- ▽アストラ・セルフアスピレーションシリンジの使用法
- ▽テルモシリンジの使用法
- ▽浸潤麻酔
- ▽下顎孔伝達麻酔

▽下歯槽神経近位伝達麻酔

- ▽12mm注射針による下歯槽神経近位伝達麻酔
- ▽歯槽孔伝達麻酔
- 精神鎮静法
- ▽笑気・酸素ボンベの準備
- ▽笑気吸入鎮静器の準備
- ▽吸入鎮静法の実際
- ▽静脈内鎮静法の実際
- 全身麻酔
- ▽術前検査と前投薬
- ▽麻酔の導入
- ▽気管内挿管
- ▽全身麻酔中のモニタリングと維持

▽回復室

- ペインクリニック
- ▽三叉神経ブロック
- ▽星状神経節ブロック
- ▽ペインクリニックに用いられる治療
- 救急蘇生のABC
- ▽気道の確保
- ▽異物の除去
- ▽人工呼吸
- ▽閉胸式心臓マッサージ
- ▽電気的除細動
- ▽歯科診療室に準備すべき救急薬

◆ 解説編

● 静脈注射 ●

静脈注射は緊急時の薬剤投与のための基本的な手技である。静脈注射のポイントは、穿刺しやすい静脈を見つけること、手指による固定である。



穿刺部の中絶前を触診する。 穿刺部を消毒する。 左手手指で穿刺部の手前、やや鉋刀の刃面を引っぱって緊張させる。



シリンジの筒端を上を向くようにし、外筒部分を両腕からはさむように把持する。 約30度の角度で、皮膚を穿刺する。 針先が血管に入ったら、左手でシリンジの内筒を引いて、血液がシリンジ内に逆流することを確かめる。



シリンジを動かさず、針を血管内に10mm程度戻す。 再び吸引して、血管内に針が入っていることを確認する。注射針が動かないように右手でシリンジを固定しながら注射する。 抜針するときは、刺入部をアルコール綿で押さえる。抜針後は3〜5分間、指で圧迫して止血する。

● 吸入鎮静法の実際 ●

吸入鎮静法を行う前に、吸入に伴う呼吸の変化と、笑気の吸入を中止すると同時に呼吸器を十分に説明する。



◆ マスクのセット



酸素を半分まで分けて、 適合したサイズの鼻マスクをのせる。 ヘッドレストのうしろでゴムホースを固定する。

◆ 流量の調節



マスクが適合しているときは、呼吸に合わせてリザーバーバッグが動く。 バッグがしぼまないように流量を調節する。 大きく吸い込んだとき、バッグがしぼむようであれば、呼吸弁を閉鎖。